

開催日時：令和 8年 9月 29日（火）

場所：医学部棟本館HIMAWARIラウンジ

参加：現地15名（医師5・看護学科教員3・学生6・事務1）

Web16名（医師2・看護師1・その他の医療職1・大学教員10・学生/大学院生2）

計31名（うち、岐阜大学外5名）

特別講演

「始めてみよう、質的研究」

演者：名古屋市立大学大学院看護学研究科看護研究推進センター准教授 **今福 輪太郎 准教授**

開会：岐阜大学医学部附属地域医療医学センター長・教授 牛越博昭先生

- 講演内容**
- ・ 質的研究とは何か、何をするための研究法なのか
 - ・ 質的・量的研究の違いはなにか
 - ・ 質的研究プロセス

講演の概要

講演では、まず質的研究について、「特定の人々や事象を深く理解することを目的とした研究」であることなど、その基本的な考え方について解説がありました。続いて、質的研究と量的研究について、実際の研究抄録を用いながら、それぞれに特徴的な表現を確認しました。さらに、存在論・認識論・方法論の観点から、質的研究と量的研究の違いについて詳しくご説明いただきました。また、質的研究におけるリサーチクエスションの設定方法についても取り上げられました。「What（どのような）」「How（どのように）」「Why（なぜ）」といったキーワードを手がかりとして、学生が講師とともに探索的な問いを立てる演習を行い、質的研究に適したリサーチクエスションの考え方を実践的に学ぶ機会となりました。

講演後の指導

講演後には、学生が計画している質的研究のインタビューガイドをご覧いただき、リサーチクエスションの見直しについてもご指導いただきました。具体的な研究計画を題材とした助言により、問いとインタビュー内容の整合性について理解を深める機会となりました。

